

本部委員会の審議内容

第3回 利用促進委員会 (2025.7.16)

令和7(2025)年度第3回利用促進委員会を連合会館で開催した。議題では、委員会テーマ「鉄道貨物輸送の集貨・配達区間の課題と積替ステーション活用状況・展望」のアンケート項目案の内容について審議を行った。今回は、アンケート調査票(案)の一部を抜粋して紹介する。

1. アンケート調査票(案)【荷主事業者向け】

A. 貴社における現在のトラック輸送と鉄道利用運送の概況についてお聞きします。

(1) 貴社のトラック輸送について、現在取り扱いがあるものを全てお選びください。(複数回答可)

- ① トラック(500km以上)
- ② トラック(200km以上500km未満)
- ③ トラック(200km未満)
- ④ 鉄道(500km以上)
- ⑤ 鉄道(200km以上500km未満)
- ⑥ いずれも利用していない

※距離の考え方について、駅や港湾までの距離及び鐵路や航路距離は加味せず、貨物の発着地点間の距離としてお考えください。

(2) 貴社が現在利用するトラック輸送で、ドライバーが不足している(トラックの確保が厳しい)輸送区間はありますか。(単一回答)

- ① 不足している輸送区間がある
- ② 不足している輸送区間は特にない
- ③ わからない

(3) (2)で①と答えた場合にお聞きします。貴社が現在利用するトラック輸送で、どの輸送距離帯について、ドライバーが不足して(トラックの確保が厳しくなっています)いますか。当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- ① 長距離(500km以上)
- ② 中距離(200km以上500km未満)
- ③ 短距離(200km未満)

(4) (3)で「①長距離(500km以上)」を選択した方にお伺いします。ドライバーが不足し、かつ輸送量の多い主な輸送区間を最大3つまで、下記項目についてご記入ください。

項目		長距離(500km以上)のトラック輸送 ドライバーが不足し、かつ輸送量の多い主な輸送区間を最大3つまでご記入ください	
		輸送区間1	
①輸送区間 (都道府県)	発地		
	着地		
②主な車種	①大型車(最大積載量8トン以上) ②中型車(最大積載量4トン以上~8トン未満) ③小型車(最大積載量4トン未満) ④ウイングセミトレーラ ⑤コンテナセミトレーラ(20ft) ⑥コンテナセミトレーラ(40ft) ⑦わからない		
③輸送量	トン/月		
④品目*			
⑤荷役形態	①手荷役(バラ荷役) ②パレット荷役(1,100mm×1,100mm) ③パレット荷役(900mm×1,100mm) ④その他のサイズのパレット荷役 ⑤その他()		

※下記品目より、最も近いものを1つ選び、該当するものを記入してください。
 ①農産品・青果物、②化学工業品、③化学薬品、④食料工業品、⑤紙・パルプ、⑥他工業品、⑦積合せ貨物、⑧自動車部品、⑨家電・情報機器、⑩エコ関連物資、⑪石油、⑫セメント・石灰石、⑬その他()

(5) (1)で④~⑤を回答した事業者にお伺いします。貴社が現在利用する鉄道輸送のコンテナ集配で、ドライバーが不足(トラックの確保が厳しい)、または緊締車*が不足している集配区間はありますか。(単一回答)

※緊締車：主に鉄道コンテナを運搬するトラックのうち、コンテナを固定するための緊締装置を備えた車両で、特に、鉄道コンテナの集配業務に使用される車両

- ①ドライバーが不足し、かつ緊締車も不足している集配区間がある
- ②ドライバーは不足していないが、緊締車が不足している集配区間がある
- ③ドライバーが不足しているが、緊締車は不足していない集配区間がある
- ④どちらも不足していない

(6) (5)で①~③を回答した事業者に貴社における鉄道利用状況についてお伺いします。鉄道輸送において、集配のドライバーが不足(トラックの確保が厳しい)または緊締車が不足し、輸送量の多い主な輸送区間順に最大3つまで、下記項目についてご記入ください。

項目		ドライバーまたは緊締車が不足し、 鉄道輸送量の多い主な輸送区間について 3つまでご記入ください	
		1	
①鉄道輸送区間	発駅		
	着駅		
②集配区間におけるトラックドライバーの不足感	発側	①不足している ②不足していない	
	着側	①不足している ②不足していない	
③集配区間における緊締車の不足感	発側	①不足している ②不足していない	
	着側	①不足している ②不足していない	
④輸送量	トン/月		
⑤品目*			
⑥荷姿	①カートン ②ドラム缶 ③フレコンバッグ ④紙袋 ⑤木箱 ⑥ロール ⑦その他()		
⑦荷役形態	①手荷役(バラ荷役) ②パレット荷役 (1,100mm×1,100mm) ③パレット荷役 (900mm×1,100mm) ④その他のサイズのパレット荷役 ⑤その他()		

※下記品目より、最も近いものを1つ選び、該当するものを記入してください。
 ①農産品・青果物、②化学工業品、③化学薬品、④食料工業品、⑤紙・パルプ、⑥他工業品、⑦積合せ貨物、⑧自動車部品、⑨家電・情報機器、⑩エコ関連物資、⑪石油、⑫セメント・石灰石、⑬その他()

第3回 輸送品質向上委員会 (2025.7.18)

令和7(2025)年度第3回輸送品質向上委員会は、連合会館において2部構成で開催された。第1部は利用促進委員会をオブザーバー参加とした講演会、第2部は委員会審議を行った。

1. 第1部 講演会



小澤教授



会場の様子

A. 講師

駿河台大学 経済経営学部 小澤 茂樹 教授

B. 演題

鉄道貨物輸送の発展を阻む正体とは?

— ヨーロッパにおける事例の考察を中心に —

C. 講演の概要

(1) 鉄道貨物輸送衰退の原因

理由1 (社会変化説) … 需要変化の問題

鉄道が得意としてきた貨物の輸送需要が減少した(産業構造や製造拠点の変化)

理由2 (トラック敗北説) … 競争に関する問題

トラック輸送に敗北した(相対的競争力の格差)

- 輸送ニーズの変化

- トラック輸送の競争力向上 ← 道路整備

- 鉄道の衰退(自滅) ← 運賃値上げ、ストライキ

理由3 (鉄道敗北説) … 供給に関する問題

線路使用に関する問題(鉄道内の問題)

- 線路使用料

- ダイヤ配分

(2) 問題解決のアプローチ

a. 因果関係を特定する(原因→問題)

問題: 鉄道貨物輸送が増大しない(増大したいのに)

原因: 3つの原因(社会変化、トラックに敗北、鉄道内部の問題)

b. 問題の原因を解決する

社会変化: 解決できない(受け入れるしかない)

輸送需要は派生需要

トラックに敗北: 現行の競争環境の下ではできない?
(自由競争下の結果)

鉄道内部: 旅客会社との交渉(借り手と貸し手の関係)

(3) 鉄道貨物輸送に対する視点

a. 鉄道→トラック: 容易 経済原則(市場原理)

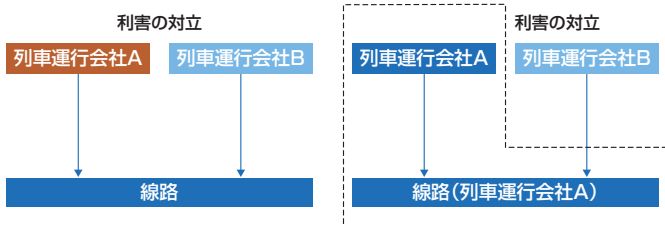
トラック→鉄道: 困難 政策が必要

b. 鉄道貨物輸送は政策という場でなければ生きられない

「政策という水槽の中でしか生きられない魚」

⇒ 政策の良し悪しが鉄道貨物輸送の発展を握っている

(4) 鉄道貨物輸送に関する上下分離の欠点



- ・ 調整を行う中立的機関がない(国は関与しない)
- ・ 国鉄分割民営化の「影」(闇)

(5) ヨーロッパにおける鉄道貨物輸送への支援

a. 対鉄道

- ・ 整備補助(イギリス、ドイツ、オーストリア、オランダ、スイス)

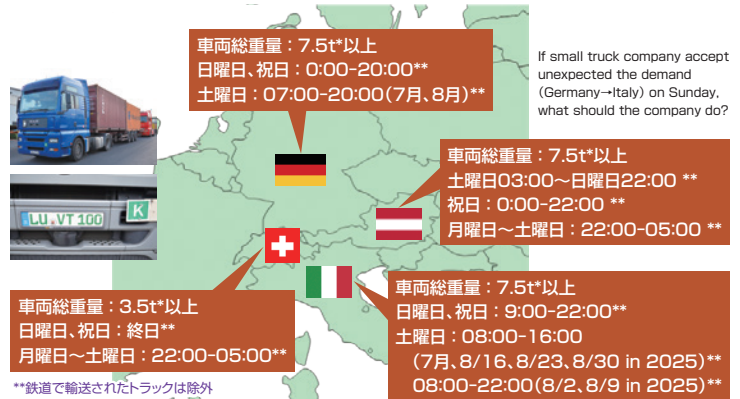
国鉄時代に投資を行ってこなかった
(公企業時代の負の負債)

- ・ 運賃差是正(イギリス)
- ・ ダイヤ配分に関する利害対立の解決方法

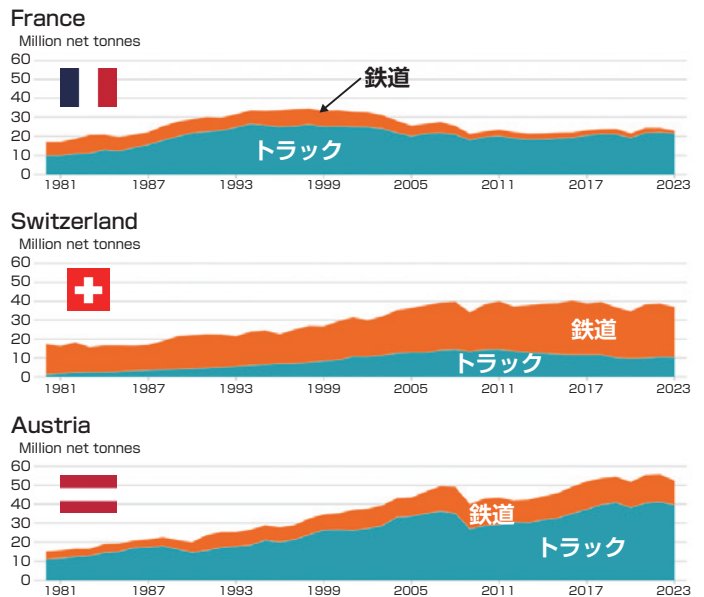
b. 対トラック

- ・ 高速道路の有料化
- ・ 通行規制

c. 大型車の通行規制



d. アルプス山脈における輸送機関別通過量



2. 第2部 委員会審議

A. 和田委員長が異動になったため、中川委員長が選任された。

B. 年間テーマ

養生機能を施したコンテナの開発・検証Ⅳ ~ 実用化に向けた提言 ~
コンテナ扉に設置している無架橋発泡体の温度による変化を確認し、仮定した取替頻度で問題がないかの検証を行った。温度を60℃に維持した部屋に、6時間無架橋発泡体を設置し、1時間毎の変化を観察した。6時間経過後、1枚は冷蔵庫へ1時間、1枚は養生コンテナ内に17時間入れ、冷却に伴う変化も検証した。

60℃の部屋に置き、1時間が経過した際に5mmの反りを確認したが、その後の変化は見られなかった。また6時間経過後に冷却した際も変化は生じなかった。



中川委員長